



「野毛古墳まつり」では埴輪作りや火おこし体験などのイベントも（以前の様子）©世田谷区



第10回 野毛古墳まつり

日時 10月15日(日)10:00～15:00
 会場 野毛大塚古墳(玉川野毛町公園内)
 問い合わせ 教育委員会事務局
 生涯学習・地域学校連携課 文化財係
 ☎ 5432-2726

野毛大塚古墳の全長は82m、後円部直径68m、高さ11m、大きな後円部に小さな前方部と造出部がつく帆立貝形古墳。この形としては全国でも最大級です。整備された古墳は、後円部に上がれますが、登ると古墳の帆立貝の形がよくわかります。頂上には、四基からなる埋葬施設の様子も図示されています。当時は全体が、多摩川の

自然石を使用した白い葺石（ふきいし）で覆われていたそうで、その姿は白亜の建物のようにそびえ立っていたことでしょう。どんな王がこの地を治めていたのか、古代に思いを馳せてみるのです。野毛大塚古墳では毎年10月に「野毛古墳まつり」が開催されます。昨年は、古代食の試食、勾玉（まがたま）や土器づくりなど古

いにしへの記憶を大切に伝えたい 野毛古墳まつりで古代を体験！



代が体験できるコーナー、屋台、古墳解説や古墳散策などが行われました。この日は埴輪なども展示されました。

野毛大塚古墳は、古代の息吹を身近に感じることでできる貴重な場所です。また、近くには等々力溪谷横穴墓群、御岳山古墳、狐塚古墳などもあります。

みなさんもぜひ足を運んで「王家の丘」を体感してみてくださいいかがでしょうか。

野毛大塚古墳について教えてくれたのは世田谷区教育委員会事務局・学芸員 寺田良喜さん



アクセス

■野毛大塚古墳(世田谷区野毛1-25 玉川野毛町公園内)：東急大井町線「等々力」駅から徒歩10分

■世田谷区立郷土資料館(世田谷区世田谷1-29-18)：東急世田谷線「上町」駅から徒歩5分



古墳にコーファン協会・会長 まりこふんさんに聞く 古墳の魅力

「なんて、もっこり丸みを帯びてカワイイんだ」と最初は古墳のデザイン的なオシャレさに興味を覚えました。いろいろな古墳を巡っているうちに、誰も来ないような山の中で古墳に出会うこともあって、人知れずここに残ってきたんだなと思うと「キュン」とします。古墳を眺めていると「ココはどうやって造ったの?」とか、たくさんの疑問が出てきます。それを古代人の気持ちになって妄想すると楽しいです。世田谷では野毛大塚古墳が一番好き。帆立貝の形がホントはつきりしていて、そこがニクイ!素敵です。墳頂に登れるので、上からその形を確認してみるのがおすすめです。

古墳への愛を歌いあげる古墳シンガー。「古墳をゆるく楽しく愛でる」をモットーに協会を設立。今まで巡った古墳は3000基以上